

代表質問

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
<http://www.gikai-adachi.jp>

区政を

事業採算性の確保については、利用者の増加に向け、都市基盤整備等について、引き続き調査・研究を行っていく。

沿線自治体との協調では、会議等の相互参加や、情報交換を密に行い、連携強化・信頼関係の構築に取り組んでいる。

地域機運の醸成では、しょうぶまつり等、様々な機会を捉えてPRを展開し、啓発活動の充実に努めていく。

②まだ具体的な検討の段階には至っていないが、区の調査検討において、亀有駅から八潮駅の間には2駅の整備を想定している。

③整備促進大会や様々なイベントでPRをしているが、一層積極的に周知していく。

幼稚園での負担感をなくせ

【問】①10月からの幼児教育無償化の準備状況はどうか。

また、園選びは夏頃から始める保護者が多いため、周知は急務と考えるがどうか。

②認可保育所の2号認定を受けた世帯の保育料は完全無償だが、幼稚園については補助の上限額があり、都の上乗せを加えても負担額が残ってしまう。保育料の他にも保護者に負担が生じている現状があり、保育施設同様の負担軽減をすべきだがどうか。

③幼稚園の保護者に対する補助金は償還払いで、使い勝手が良くない。支払いの負担感に対する区の見解を伺う。

④無償化が本格実施されれば、区が負担してきた費用は減少する。その費用を子育て支援に充てていくべきだがどうか。

【子ども】①国や都の方針に基づき、制度設計を進めている。

また、7月以降に幼稚園や保育園等へ説明を行うとともに、利用者及びこれから利用を希望する方が対象の説明会を複数箇所で開催している。

②幼稚園の都と区の月額平均保育料の差額相当分1千円に加え、冷暖房費相当分500円を上乗せし、月額2万9千円を上限に補助予定である。上乗せ後、約7割の児童の保育料が無償となり、残り3割は月額1千円から4千円自己負担が残ると見込んでいる。

③補助金を各園へ直接払いにすれば、保護者の負担軽減になることは認識しているが、幼稚園側に負担が増すと想定される。保護者や幼稚園のご意見を伺いながら、慎重に検討していく。

④減少分は、認可保育園の多子世帯負担軽減、幼稚園や認証保育所の保護者負担軽減の上乗せ等への活用を考えているが、今後も幅広く検討していく。



学校体育館にエアコン整備を

【問】①第四中学校での暖房検証結果はどうであったか。

②構造の違い等、確認事項があると思うが、区内小・中学校全校設置に向け、できる限り予定を早めて進めてはどうか。

【学校運営】①これまで設置していた遠赤外線暖房器との比較において、機器取付位置より下方部分が広範囲に温まり、十分

用語解説

*アポ電：アポイントメント電話の略。家族構成や資産状況を聞き出し、相手を利用させたりすること等を目的にかけた電話。

な効果があると評価している。

②学校体育館は、いつ発生するか予測できない大規模災害時の避難所となることや、近年の異常ともいえる猛暑等を勘案し、可能な限り早期に設置できるよう、検討を進めていく。

東京五輪に児童・生徒の観戦を

【問】区は、東京五輪教育施策として、子ども達にかけがえのないレガシーを遺すべく、多くの取り組みをしてきた。

①教育施策の集大成として、都と協力し、児童・生徒が直接会場に行つて競技を観戦する機会を提供すべきだがどうか。

②会場までの移動や熱中症等の心配から、参加が難しいと判断された学年の経緯や理由を伺う。

また、参加が叶わない児童がいるなら、直接観戦に代わるレガシーを提供すべきだがどうか。

【教育長】①多くの児童・生徒に観戦機会を提供したいと考え、

用語解説

*クイック避難建物：河川氾濫等で、家屋等へ浸水の恐れがある際に、近隣住民の一時避難場所となる5階以上の高層建物

校長会の意見を聴きつつ、都教委と協議した結果、安全性等を考慮し、小学3年生以上を対象に機会を提供することとした。

②小学2年生以下の安全・安心な引率を念頭に、都教委に見・要望を上げてきたが、暑さ対策や混雑の中での引率の困難性に加え、競技場までの交通手段や入退場時間、引率教員の人数等から、十分な安全・安心を確保できないと判断した。

また、直接観戦に代わるレガシーについては、パブリックビューイング等、関連部署と連携しながら検討に着手したところである。

【問】西日本豪雨は200人を超える犠牲者を出し、改めて豪雨災害の深刻さが浮き彫りになった。区内下水管の平均排水能力以上の雨が降り続くことは、もはや想定外ではなく、水害対策は喫緊の課題である。



足立区議会公明党

区民の命を守る水害対策と

子どもの安全を万全に!!

公明党 岡安 たかし 議員



綾瀬駅東口駅前開発地の暫定利用の可能性は

【問】土地の開発方針が決まるまで駅前広場等、暫定利用を望む区民の声も多くあるが、開口部や突起物の安全面や事故が起きた場合の責任等、クリアすべき課題と暫定利用について、区の方針はどうか伺う。

【政策経営】区も歩行者スペースの確保等、暫定利用を行いた

機が年度途中で貸出回数に達した。今年度は、例えば2千台に増やす等して、希望する区民の皆さんに行き渡るようにすべきと思うがどうか。

【危機管理】昨今は、アポ電強盗や特殊詐欺に関するマスコミ報道の影響もあり、自動通話録音機の需要が高まっている。区内4警察署と連携し、今後も積極的な啓発活動を行うとともに、区民のご要望に応えられるよう、追加購入も検討していく。

近所の高い避難建物の周知を

【問】西日本豪雨は200人を超える犠牲者を出し、改めて豪雨災害の深刻さが浮き彫りになった。区内下水管の平均排水能力以上の雨が降り続くことは、もはや想定外ではなく、水害対策は喫緊の課題である。

昨年8月から綾瀬警察署は、豪雨等により自宅の安全性が低下した区民が一時避難できるクイック避難建物の指定を所有者の協力のもと進めており、今では区内4警察署で推進していた

だいている。水害時に避難できる高い建物が身近な所であれば、より区民の安心感にもつながるクイック避難建物のご紹介があるのかを、ホームページや区防災ナビに掲載すべきと思うが伺う。

【危機管理】垂直避難は、浸水しない地域へ避難する時間的な余裕がない場合等、命を守る最終手段としての避難行動であるため、区民の方々が身近なクイック避難建物の位置を把握しておくことは、とても重要である。

一方、クイック避難建物のホームページ等への掲載は、マンション所有者の承諾等が必要と

なるため、各警察署と連携し、掲載できるよう検討していく。



区民の命を水害から守るために

【問】防災行政無線の放送内容を聞き直してできるテレホンダイヤルについて、さらなる周知が必要だと思うがどうか。

また、区防災ナビにも聞き直してできるメニューを追加すべきと思うが伺う。

【危機管理】テレホンダイヤルは、これまで区洪水ハザードマップ等に掲載し、周知を図っている。今年度、改定予定のあだち防災マップ&ガイドにも分かりやすく掲載する等、より一層の周知に努めていく。

また、区防災ナビについては、早急に対応していく。

旧千寿第五小学校跡地は避難所機能も兼ねた活用を

【問】旧千寿第五小学校跡地について、文化庁より芸術団体の稽古場不足の課題解消に向け、当施設の活用案が提案され、区は検討を進めることとした。地域からは、以前より避難所としての活用等を求める要望もあり、避難所機能も兼ねた活用を検討すべきと考えるが伺う。

【資産管理】文化庁よりご提案いただいた一方で、警視庁からは東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会警備のため、令和2年6月からの4カ